

令和4(2022)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

唐橋児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
生活援助機能																
基本的な生活習慣についての指導	毎日															基本的な習慣が身に付くよう日頃から子どもたちに指導した。
子どもの状況把握	毎日															子どもたちの出欠確認・健康状態などを職員で確認した。必要時には保護者・小学校に問い合わせし、子どもたちの状況の把握を行った。
安全・衛生及び健康管理	毎日															定期的に設備や遊具などの安全点検、衛生管理点検を行った。また、子どもの様子に目を配り、安全・衛生及び健康管理に努めた。
整理整頓・挨拶などの指導	毎日															各自の持ちものやロッカーなど整理整頓を心掛けるよう指導した。また、日頃の言葉使い、挨拶についても随時指導した。
手洗い・うがい・消毒の徹底	毎日															習慣づけのため、コロナ感染予防もかねて登館時、おやつ前、外遊び後などに「手洗い・うがい・消毒」の声掛けを行った。
共有物の使い方・片付け方の指導	毎日															共有物や遊具・備品を大切に使うように随時、指導を行った。また子どもたちが片づけ・整理整頓がしやすいよう、写真や掲示で片づけ方を明示するなど工夫した。
外あそび(小学校のグラウンド)についての指導	毎日															放課後の自由遊び時には唐橋小学校のグラウンドをお借りして外遊びを実施した。使用時のマナーやルールについて子どもたちへの指導を行った。
おやつ提供	毎日															おやつはコロナ感染予防のため5グループに分けて、順番に行った。朝食を基本としながらも楽しい時間になるよう内容の工夫を行った。
登館・下館についての指導	随時															お帰りの会等で随時、交通ルール・登下館のルールについて子どもたちに指導を行った。必要時には保護者と連携し、安全指導の強化を行った。
下館時の職員見守り	随時															新入生を含めた新しいグループでの集団下館がはじまる4月当初の一週間は、職員が各グループに付き添い、見守りを行った。またそれ以降も、必要時には付き添い・見守り指導を随時行った。
熱中症に対する管理と指導	随時															夏季期間中は、熱中症を予防するため、子どもたちに休息を取ることと水分補給をこまめに行うことを指導したり、おやつ時に塩分補給タブレットの提供をおこなった。
土曜日・長期休暇中の朝学習の実施	随時															土曜日及び長期休暇中は、朝学習の時間を設定し、各自で勉強・読書を行った。
夏休み「休息時間」の実施	随時															夏休み期間中、静かに体を休めるための休息時間を設定した。1年生は暗くした部屋で、体を横にして休んだ。2年生以上は別室で過ごした。
子ども育成機能																
令和4年度入会式	1	32	33	16	5	8	1						36	131		新入生の入会を祝う。新入生の紹介、写真撮影、在籍生のけん玉発表、在籍生からのメッセージつきのおやつプレゼントを行う。
防災まなびタイム	4	79	53	23	9	5	2							171		防災について学ぶ取り組み。第1回：新入生対象、館内避難経路等の確認。第2回：水害を想定した避難訓練。第3回：地震防災についての学習。
新入生歓迎会	3	83	94	51	12	18	3							261		クラス別開催。新入生を迎え入れ、皆が学童クラブの仲間である事を意識し、交流の輪を広げるため、帰りの会の時間に新入生の紹介を行う。
お誕生日会	12	352	376	187	62	38	11							1026		毎月、その月生まれの子どもの誕生日会を開催。お帰りの会で、お誕生日カードの贈呈、子どもインタビューなどを行う。また、おやつは、日頃より少し特別な内容のものを提供する。
みんなであそぼう！チャレンジデイ	11	283	336	148	52	32	11						5	867		子どもたちの交流の輪を広げるための「みんな遊び」。「キャップ入れ大会」、「大声大会」、「3年生企画」、「クラス対抗リレー」
エコタイム	5	173	199	86	23	19	6							506		エコについて考えるきっかけとして、おやつ時にエコ紙芝居の観賞やおやつゴミの分別等に取り組む。年6回(毎奇数月)
3年生の取り組み	28			365										365		夏休み中の休息時間内に、3年生の子どもたちが自分たちで企画し、「みんな遊び」としてお化け屋敷の企画を行った。
お弁当いらないデイ	3	86	83	51	18	12	3							253		長期休暇中(夏休み、冬休み)に3回行った。子どもたちにとっては、普段のお弁当とは違う内容で、いつも以上に楽しく昼食を食べている様子だった。当日欠席者にもお弁当を渡せるよう事前に確認を行い、取りに来てもらった。

けん玉発表練習	6	28	62	45		19	6						160	夏まつりのステージ発表の練習。子どもたちも保護者に見てもらえる場を設定した事で意欲的に練習に参加している様子だった。	
カウントダウンパーティー	1		32	29	17	6	1	1					86	3年生が企画・進行して、1日を通して「バナナおに」、おやつ時の「紙芝居」、帰りの会前に「手話の発表」等大いに盛り上がる事ができた。	
3年生生会議	4				56								56	3年生の思い出企画について、子どもたちが主体的に話し合い、内容を決定した。子どもたちの自主性や仲間意識、思いやりを育むことができた。	
3年生思い出遠足	1				4				13				17	3年生が企画した「京都水族館遠足」。子どもたちにとって楽しい日になった。また子どもたちの自主性や責任感を養うきっかけにもなった。	
おたのしみパーティー	1	28	33	13		4	2	1					81	今年度卒館する子どもを送る送別会・進級祝いを全員参加の形で行う。卒館生メインのスライドを見て、当日参加している全員で送別のお祝い・進級のお祝いとした。	
入会式に向けての取り組み	5			32	26			8					66	来年度、入会式で新入生に渡すメッセージカードを作った。学童クラブの繋がりを深めることができた。	
児童館行事への参加	随時													児童館主催行事への参加。	
クラブ活動への参加	随時													児童館主催の登録制クラブ活動への参加。	
子育て支援機能															
保育懇談会	4	2	2	2					13	2			230	251	保育懇談会は、各クラス年4回の開催予定で行った。スライド上映では、学童クラブだより「からっこ」では伝えきれないことも直接、写真を見て保護者に伝えられたので、好評であった。長期休暇前（夏・冬）には、地域別集団下館ごとに話し合いを行い、子どもの登下館ルートなどについて確認、情報共有ができたので良かった。
小学校との連携	12													定期的に小学校とのおたより交換を行った。また保護者や子どもへの対応について随時連携を取りながら進めることができた。日常においても、学校の遊具使用のルールや、下校時間などについては、随時、連絡をとり、気軽に相談できる関係性を持つことができた。	
連絡帳の活用	12													毎日一人ひとりの連絡帳をチェックすることで、保護者からの連絡事項を漏らさず受け取ることができた。また、職員からも連絡事項を伝えたり、保護者から伝えられたトラブルなどへの対応や詳細について報告を行い、日常的に保護者との連携を持つことができた。加えて、配布物や提出物のやり取りにも活用した。一方子どもには連絡帳忘れがないように随時指導を行い、保護者にも保育懇談会等でその旨をお知らせしてきた。	
学童クラブ「からっこ」の発行	12													毎月の行事や取組についての案内や、子どもたちの様子を伝えていくことができた。また、クラス別（つき組・ほし組・そら組）に発行したことで、クラス別の取り組みを意識づけることができたので良かった。夏休み終了後には、毎月の発行分とは別に、夏休み期間の子どもの様子についてを伝えるために写真を多く使った「夏休み特別号」を発行した。	
個人懇談	27												52	52	新入生を中心に、学童クラブ・家庭・学校での子どもの様子について個人懇談を行った。学童クラブでの様子については、事前に職員間で幅広く情報を集め、保護者に伝えた。保護者と一対一で話し合う大切な機会であり、保護者と学童クラブの相互理解をさらに深めることができた。また懇談後はその内容を職員全員で共有することで、子どもに対する理解を深め、保育に活かすことができた。定期的に行っている個人懇談以外にも、保護者との連携が必要な児童に対して、個別に時間を設定して懇談を行った。
入会説明会	1												29	29	コロナウイルス感染拡大防止のため、学童クラブに新規登録する保護者を対象に2回に分けて行った。資料の説明だけでなく、スライド上映で学童クラブの様子を見もらうことで、より分かりやすく保護者に伝えることができた。
利用者共通アンケート実施	1													学童クラブ登録児童とその保護者から行事や取組、日常生活についての意見や要望を知る機会となった。事業内容の見直しや改善の参考とした。	

\*注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること  
\*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること